



支那語
孫連仲をスウリエン
チン、萬福麟をリン
フーリン、曹福林をツ
アオフーリン、千學忠
はニイシユエチン、
張學良はチンシユエ
リファン、張發奎はチ
ンフアクエイと呼ぶ

平郵便局が催した
交換嬢と記者の懇談
去る九日同局舎樓上で

百圓を國防献金
石城郡川前村の永山徳一氏は
今回の事變に散華したる勇士
の冥福を祈るため觀音經二千
字の淨寫をなし、懇前に供へた
徳行家であるが今回またく
國防費として金百圓の献金を
小野新町署に寄託した

簡易な金融小口貸付
御利用をお奨め致します
安く一口千圓以内三ヶ年返済

庶民金庫平代理部
詳細はお問
合ひを乞ふ

文魁文堂
電話313番

今朝未明の大火 夏井で八戸廿棟 原因取灰、損害約三萬圓

石城郡夏井村上大越字塚越六
六味味噌油醸造業矢吹豊六
方から今十一日午前一時半頃
發火し折柄の烈風と水利に乏
しいため西から東へ同部落内
の左記八戸(二十棟)を類焼同
四時頃鎮火した、原因は矢吹
方が灰小屋にすてた取灰の不
仕未からで火元の同家に物置
を焼失せるのみ類焼に目を當
てられぬ慘害を興へ矢吹幸輔
方では馬一頭を焼死させ其の

他各戸共に收穫米を貯藏せる
ばかりで多きは百俵を焼失せ
る者あり損害約三萬圓と見ら
れてゐる罹災家族約五十名な
小學校に收容村では急務村會
を開き焚き出しの外救済に大
意であるが鈴木甚作方では
目下出征中の家庭である
▲火元矢吹豊 類焼鈴木甚
作 阿部富夫 矢吹榮次郎
矢吹大郎 矢吹幸輔 鷗沼
孫之丞 同加藤(以上八戸)

貨車積一六四)以上八貫匁
小賣平地方五五錢、小名濱
方部八〇錢、
▲好間方部の上(第一種)依
買價四五錢(順買り一〇
貨車積一七四)中(第二種)
依買價三五錢(順買り一〇
四五〇)貨車積一四四)赤
(第三種)依買價二五錢(順
買り七四八)貨車積一
一四)以上八貫匁小賣平
地方四五錢、小名濱方部八
〇錢、
▲湯本方部の上(第一種)依
買價五五錢(順買り一三四
七五錢、貨車積一七四)以
上八貫匁小賣平地方五五
錢、小名濱方部七五錢
に決定この自備價格が縣の許

高過ぎた石炭小賣値 組合の結成で約半額 拾ひ炭仲買商七十五名の組合 昨日平署會議室で決定

平署管下各炭礦の拾ひ炭仲買
商が價格の統一と公道價格決
定のため昨日午後一時から
同署會議室に七十五名の同業
者會して石城特種石炭商組
合の結成式を舉行し組合創設
の附議に先立ち柴田署長か
ら價格の協定と組合結成との
重要なる目的並びに物價の統
制について鋭後人が戦線に立
つ勇士同様の覺悟をもつて當
らねばならぬ諸事情を説かれ
た後組合規約十四條の制定
に次で役員を選任に移り組合
長以下左記を決し柴田平署長
及び日野定利氏(内郷村)を
顧問に推戴すべく満場一致の

石城産馬組合では今年春の駒
離から市場日割と場所を繰延
べた中寺市場の従來の三月三
十日から四月三日を七月五日
から七日となせるもの及び四
月十日から十二日の黒田市場
を上遠野市場に於ける四月五
日より八日に互つたもの、ア
月三十日から七月三日に收め
て上遠野に併合せたとする
同地方農家の貸借決済を毎年
三、四月にやつてゐたものに
影響するのみならず農家に於
ける仕渡資金に支障を來たし
且つ當才駒を七月まで置くこ
とは耕作地を荒されると云ふ
ので従前の驛市日に戻される

石城の駒離期日を
従前に復活の陳情
地方農家に支障多きを爲め

平商業校の
珠算競技入賞
出場二百名の盛會

平郵便局の電話交換嬢と平日
記者クラブの電話事務につ
いての懇談は去る九日午後
二時から同局舎内に開かれ局
長ほか關係係員列席局長の開
辭に半谷本記者が結構な催
である挨拶があり電話利用者
から云ふ不満に對して其の事
情の餘儀なき説明及び今後可
及的便宜につとめ相當有益な
質疑應答約二時間の後交換
から試験台その他の實況參觀
をなし同四時半散會したが比
較的加入者側に苦情の多い市
外通話の小名濱、湯本、綴方
面が最も繁忙でこれはは本月
六日から一回線増設したが尙
ほ東京間にも明春までに一回
線を増やすことになつて居り

防空訓練に同町瀬谷清さん方
一家三名が病床にあり困り
切つてゐるのを見て五に經費
を持寄り同家の燈火供養用具
を求めて完全な設備をたせ
たほか病人の藥代若干圓を贈
つた善行に對し今回知事から
表彰された

防空訓練に同町瀬谷清さん方
一家三名が病床にあり困り
切つてゐるのを見て五に經費
を持寄り同家の燈火供養用具
を求めて完全な設備をたせ
たほか病人の藥代若干圓を贈
つた善行に對し今回知事から
表彰された

防空訓練に同町瀬谷清さん方
一家三名が病床にあり困り
切つてゐるのを見て五に經費
を持寄り同家の燈火供養用具
を求めて完全な設備をたせ
たほか病人の藥代若干圓を贈
つた善行に對し今回知事から
表彰された

思ひまゝに 大森 勇

吾々は揚子江の上流で空襲さ
れた事もあつたし砲撃された
事もあつた。ある朝起きて見
たら三五五々集つてそつちで
もつちでも何か語り合つて
る。何を話してゐるのかと聞い
たら、昨夜の空襲を知らなかつ
たのかと云ふ。空襲の模様
は斯うである。午前三時過ぎ
ごろブローラの音響がしく敬
機の襲來があつた。投下され

揚子江の上流の夏は百三十度
もあるので堪え難い。夜は蒸
暑くて船室に寝られない。私
は如何に暑くても船室でよく
眠れたが、戦友諸君はよく上
板の上で寝たものである。
私の戦友にS君と云ふ人があ
る、暑がりやなので毎晩星を
ちりばめた背空の天井の下で
寝た。ある晩周囲ががや／＼
するので目が覺めた。仰に寝
てたのは背空である。する
と頭の眞上から敵機の照明彈
がふらふら落下して來た。目

庶業方回

一晝夜十三錢 蠶室内温暖器

空箱利用で出来る
装置も簡便理想的
蘭増産と燃料削減に副ひ、
しかも全額二百萬養蠶家の負
擔を軽減しやうと云ふ「蠶室
内温暖器」が考案された、千
葉縣海上郡飯岡町萩園區向後
幸次郎氏は永年養蠶經營の休
暇から蠶兒に對する亞硫酸ガ
スの質管を除去して蠶室の適
時適温をはかり且つ時局下の
木炭の不足と経費の三點に備
へる理想的温暖器の製作に苦
心研究をつとめてきたが、こ
のほど漸く完成し郡養蠶組
合五木田技手の折紙付推廣を
うけ特許出願の手續をとつた
これは空箱利用の木炭爐に
火口を漏斗形としたブリキ
製通温管を蠶室の廣さに適
合してつくり漏斗形火口は
一寸角ぐらゐの覗き口と通
風孔を設けたゞけの簡便な
もので経費も五圓ぐらゐ、
火種は豆炭を用ひ八畳間蠶
室一回分豆炭二十個約三百
匁六錢五厘で十二時間七十
度より七十五、六度の保温
と調節が自由で一晝夜の經
費僅かに十三錢、
從來蠶兒二齡起きまでに使用
する木炭は四俵から五俵を要
し七寸燐炭でも十度以上を保
つには一晝夜四十五錢ぐらゐ
を要し従つて蠶兒の二齡起を
までに要する火温料は木炭な
ら十三圓、燐炭なら五圓乃至
六圓のものが本器によれば一
圓四、五十錢で足りると云ふ
有様で上簇中は如何に火力を
使用しても火災の危険なく空
内ガス除去法は全く申し分が

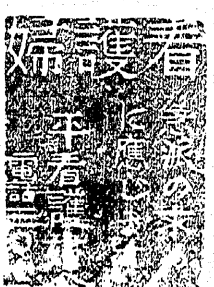
ないと關係者の絶縁を博して
ゐる(完り)

一般印刷物も
御引受致します
新しいわき新聞社
印刷部

肉の御用命は

三三三屋

牛も豚も優良品の自慢



秋より冬にかけて 婦人洋品

シヨールと防寒具 可愛い子供さんのお帽子とお洋服

豊富陳列して御座います
ツルヤ
平電140

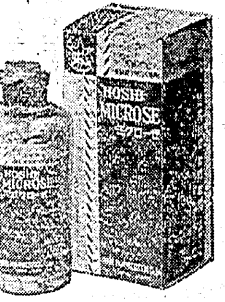
債券、公債
両替、金融
多田井質店
平市大工町 電話五九一番

内科、小兒科 大森醫院

醫學士 大森 勇
平市南町 電二五八番

大小の御宴會にホール
御家族の御同伴に御座敷
いつも材料を吟味して居ります
マルトモ食堂
平市四丁目 電話一一三番

生強腸胃 三ツローゼ



ホシチエーンストア
星製藥株式會社福島縣支部
ホシ薬舗
(平市3ノ30) 電話429番

製する際に死滅し易い酵母と異り、ミクローゼの主成分である日本固有のビルツは、生存力の極めて強く、服用後、胃腸内でとんとん増殖し、強力な消化酵素を産生する特徴を有して居ります。—故に、効果は持続的、且つ強力であります。何よりの証は、食慾が増し、快い便通が得られることです。
郵券十円で、五日分六十錠の試服薬を急送す
東京・五反田 星製藥株式會社

良薬 胃腸 消化 強腸 胃

胃腸 消化 強腸 胃

胃腸 消化 強腸 胃

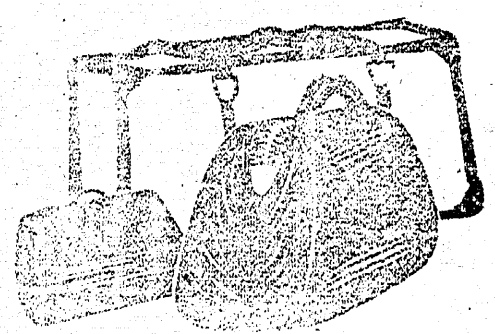
醫學博士 江尻伊三郎
平市田町 電話六九一番

皮膚科 泌尿科 性病科

診療時間 午前八時より 午後九時まで

院醫尻江

類品洋とンバカ



(電話五六) 屋砂眞 (前驛、市平) (り通道新)